部下のやる気に火をつける方法（第22回）

男女で褒め方を変える

2020.12.10

パフォーマンス心理学の最新の知見から、部下をやる気にする方法を紹介する連載。部下に対して効果的にメッセージを伝える方法を紹介する第12回は、男女で褒め方を変えるテクニックです。男女には価値観に違いがあるケースが少なくないので、褒めるツボも異なっています。それを把握してないと、部下をやる気にさせることはできません。

部下の感情にまで届くメッセージ発信の技術（12）

相手の価値観に配慮して褒め方を工夫しよう

男女で自己表現の仕方に性差（性別的な差異のこと）があることは本連載第9回でお伝えしました。性差があるということは、元はといえば価値観に性差があり、育ち方に性差があるからです。

そこで気を付けておきたいのは、男性上司が女性部下を褒めるとき、あるいは逆に女性上司が男性部下を褒めるときの問題です。例えば、実際に私が目にした場面ですが、「おや、今日は髪がショートになったね。なかなか似合うよ」と男性上司が女性部下を褒めたときに、「あら、元から短かったです」と言われ、男性上司はガッカリ。女性は外見を褒められるのがよいだろうと男性上司が考え外見を褒めたら、意外にもそれが的外れだったというサマにならない例ですが、実際にはよくあります。

女性が生きていくときの価値観を何に置くと考えているか。逆に、男性が生きていくときの価値観を何に置くと考えているのか。そこを厳密に理解していないと、褒めたつもりでもちっとも相手を喜ばせていないどころか、「何だったんですか」と軽蔑されかねません。

男性部下は「実力」、女性部下は「美しさ」… 続きを読む